

プロジェクト名: 似島二階地区藻場造成・保全プロジェクト

プロジェクトの概要

- ・ 似島は広島湾南約3km沖にある、広島市最大の島です。戦時中は海外の戦場から帰国してきた兵士の検疫所として使われ、当時の遺跡・史跡を巡り歴史を学ぶことで、平和の尊さを肌で感じられる島です。また、カキ養殖が盛んに行われており、似島周辺にはおよそ250のカキ筏が島を取り巻くように連なっています。
- ・ 似島の南西部に位置する二階地区では、広島市漁業協同組合がカキ殻を活用した人工干潟を平成元年度に施工し、その後、その中に広島市が約5,000m²のアマモの移植を行いました。
- ・ アマモ場周辺にカキ養殖の抑制棚を設置し、カキの水質浄化機能により、アマモの成長を促しています。



プロジェクトの特徴・PRポイント

- ▶ アマモ場の保全活動を通じて、CO₂の吸収による地球温暖化の抑制だけでなく、カキのえさを増やし、多くの魚類・甲殻類の棲家になる等、豊富な海洋資源を持つ瀬戸内海を豊かにしています。
- ▶ また、令和2年度から、藻場ブロックを設置し、新たな藻場の生育環境の創出をはかる活動を行っています。
- ▶ 今後は、クレジットの収益も活用しながら、アマモの移植や藻場ブロック設置等による藻場の拡大・維持活動を実施し、ブルーカーボンによる脱炭素社会に貢献します。

